

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ			科目コード	CP4254
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	SR(演習)	3年以上	三浦 剛ほか	



下記の記載内容以外は、後日、通信教育部ホームページに掲載します。

※レポート課題など

- ・本科目は、当年度の「ソーシャルワーク実習Ⅰ」申込者を対象とします。
 - ・本科目のスクーリングは、「実習指導Ⅰ-1」「実習指導Ⅰ-2」「実習指導Ⅰ-3」「実習指導Ⅰ-4」に分割されており、すべてのスクーリングを同一年度内に受講しなければなりません。同一年度内に受講ができなかった場合は、次年度以降「実習指導Ⅰ-1」から再受講となります（「実習Ⅰ」も要再申込）。
 - ・「実習指導Ⅰ-1～3」は実習事前指導、「実習指導Ⅰ-4」は実習事後指導になります。
- ※実習事前指導スクーリングを欠席した場合、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」は受講できません。また実習事後指導を欠席した場合も単位修得できません。
- ※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の概要

■教科書（「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 [専門科目] 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）』中央法規出版、2021年

■履修登録条件

この科目は、「ソーシャルワーク演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方が履修登録できます。

スクーリング

■スクーリング受講申込上の注意

- ・この科目は、スクーリングの受講が必須となります。
- ・1クラス20人以内の少人数で開講します。
- ・受講料は10,000円となります。
- ・受講許可証・納入依頼書は、各受講判定日（申込締切日）以降に発送します。
- ・スクーリング開講日・申込締切日は、『試験・スクーリング情報ブック』または『With』を参照ください。

- ・申込方法は、『実習の手引き』『With』でご案内します。
- ・クラス分けは無作為に行いますので、教員の指定はできません。
- ・申込締切後の受講日・受講地の変更は受け付けしません。必ずしも第一希望での受講ができない場合があります。ご了承ください。
- ・公共交通機関の延着を除き、遅刻・欠席は認められません。また、スクーリング終了時間前の退席も認められません。

■スクーリング受講条件

受講判定日までに

- ①「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の4科目分すべてのレポート提出
- ②「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」課題Ⅰレポートの提出
- ③(「指導Ⅰ-1・2」スクーリング当日までに)『課題ノート』の提出
- ④実習選考試験の合格

■スクーリング申込方法

『実習の手引き 様式集』より指定の様式で申し込んでください。申込締切日は7/31(必着)です。

※開講地・開講日程は『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

※「実習指導Ⅰ-4」は、実習期間終了後の日程で申し込んでください。申込締切日時時点で実習日程が未定の場合は、決定後に調整します。

■スクーリング開講予定

※詳細は『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

「実習指導Ⅰ-1」→会場：各地 開講時期：8月

「実習指導Ⅰ-2」→会場：各地 開講時期：9月

「実習指導Ⅰ-3」→会場：各地 開講時期：11月

「実習指導Ⅰ-4」→会場：各地 開講時期：1～3月

■スクーリング受講料

「実習指導Ⅰ」スクーリング受講料は10,000円です。「実習指導Ⅰ-1」スクーリング受講後に納入依頼証を発送します。

レポート学習

■レポート課題【仮】 ※変更が生じた場合は、ホームページでご案内いたします。

課題①

ソーシャルワーク実習の目的と構造について整理し、実習で学びたいこと、動機を具体的に述べてください。また、実習における課題を講義、演習との連動を踏まえながらまとめてください。

課題②	『ソーシャルワーク実習 課題ノート』を作成・提出してください。 ※「実習指導1-1」「実習指導1-2」「実習指導1-4」スクーリングまでに各所定の範囲に取り組み、受講当日に提出してください。 ※『課題ノート』は実習申込者へ個別に配付します。
課題③	実習先に対応した「実習計画案」「実習計画書」を作成してください。 ※『実習の手引き 様式集』より指定の様式を使用すること。 ※必ず鉛筆書きで作成し、「実習指導1-2」スクーリング受講時に実習計画案のコピー1部（A4サイズ、両面コピー不可）を大学へ提出すること。 ※原本は自身で保管しておくこと。 ※「実習指導1-2」スクーリング受講時に教員の添削を受けた後、実習先へ事前訪問を実施（実習先のプログラムとすり合わせ）し、実習計画書に清書したものを実習開始1ヵ月前までに大学・実習先へ提出すること。
課題④	(実習終了後) 実習1で学んだ内容を分析・考察してください。 ※内容は・実習施設の概要・実習内容・実習課題の達成状況・全体のまとめ（今後の課題も含む）を記載してください。その他の項目を追加しても構いません。単なる感想文とならないよう注意してください。 ※通常のレポート提出台紙で提出してください（字数3,000字程度）。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■各課題提出期限・提出方法【仮】 ※変更が生じた場合は、ホームページでご案内いたします。――

課題1：実習1受講年度の7/1～7/31（必着）

※通常のレポート提出台紙を使用してください。

課題2：「実習指導1-1」「実習指導1-2」「実習指導1-4」スクーリング当日

※『課題ノート』でご案内の所定の範囲に取り組み、各スクーリング受講日に提出してください。

※スクーリング会場にて回収しますので、必ず持参してください。忘れた場合や記載内容が不十分な場合は、スクーリングが不合格となり、当年度の実習受講はできません。

課題3：実習計画案

「実習指導1-1」スクーリング受講後に作成、「実習指導1-2」スクーリングで提出

実習計画書

「実習指導1-2」スクーリングで教員の添削後、実習先への事前訪問を終えたら大学へコピー2部、実習先へコピー1部を提出

課題4：実習終了後～指定期日までに作成・提出

※提出締切は『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

※通常のレポート提出台紙を使用して提出してください。